

湘南ペガサスと私

－40周年、そしてその先へ－

会長、トーラス 65 監督 森秀樹

私は湘南高校 46 回生です。高校、大学、サラリーマン時代とサッカーをしてきました。30代で海外の仕事が多くなり、しばらくグラウンドから足が遠のいていましたが、40代に湘南ペガサスサッカークラブに入り、40代、50代、60代とそれぞれの年代のチームでプレーをし、現在は65才以上のメンバーで構成されているトーラス 65 でシニアサッカーを楽しんでいます。

60代半ばを過ぎてもサッカーをやっていると、ほとんどの人は驚きます。そして、大概「あの広いグラウンドで？」と聞いてきます。「そうだ。」と言うと、「それはすごい！」 「で、45分ハーフ？」 「いや、20分か25分で。」と言うと「あ、そうなんだ。」と少し納得した顔になります。白髪交じりのおじいさん達が広いグラウンドでボールを蹴りあっているシーンが目に浮かぶのだらうと思います。そして、「なんで、その年になって？」となります。グラウンドのお爺さんたちは真剣に、走ったり、歩いたり、休んだり、そしてボールを蹴ったりして楽しんでいるのです。「すり足」で走っているのは若い頃のように腿を高く上げて走る事が出来なくなったからなのです。本人はカッコよく腿を高く上げて走っているつもりなのですが、、、。それでも、サッカーは楽しいのです。

湘南ペガサスサッカークラブは「来るものは拒まず、去る者は追わず。」をモットーに、創立40周年を迎える事が出来ました。現在、40代から70代までのチームで構成され、会員数約150名のクラブとなっています。これもひとえに会員一人ひとりのサッカーに対する情熱が結集した結果です。あらためて感謝したいと思います。

シニアサッカーは今後ますます盛んになっていくと思います。人生100年の時代です。10年後には80代のリーグが、20年後には90代のリーグが出来ている事でしょう。

これからも、サッカーを楽しみましょう！

湘南ペガサスサッカークラブに乾杯！